



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 長野計器株式会社

上場取引所 東

コード番号 7715 URL <http://www.naganokeiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 恵夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 角龍 徳夫

TEL 03-3776-5333

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	24,235	17.1	1,407	113.4	1,495	133.9	849	179.5
29年3月期第2四半期	20,700	9.6	659	27.3	639	39.0	303	57.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,731百万円 (%) 29年3月期第2四半期 8百万円 (97.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	43.83	
29年3月期第2四半期	15.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	46,342	21,462	45.2
29年3月期	44,809	19,936	43.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 20,934百万円 29年3月期 19,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,423	9.6	2,708	46.4	2,769	44.1	1,510	13.4	77.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	19,432,984 株	29年3月期	19,432,984 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	45,509 株	29年3月期	45,383 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	19,387,567 株	29年3月期2Q	19,387,712 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、米国においては製造業・非製造業ともに引き続き景況感が改善し、欧州経済においても緩やかな景気拡大を維持しております。中国経済においても政策効果によって景気が持ち直しに転じており、世界経済全体としては緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら北朝鮮情勢の動向や米国の政治動向が見極めづらい状況にあり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

わが国経済においては、輸出の増加などを受けて生産活動が拡大基調にあり、設備投資も底堅く推移しております。また雇用・所得情勢は堅調に推移しており、総じて国内景気は緩やかな回復基調を維持しております。

このような状況のもと、当社グループでは、圧力計測分野においては半導体業界向や建設機械業界向、米国におけるプロセス業界向などの需要が増加し、また、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の需要も増加いたしました。さらに欧州における合弁会社での稼働の貢献に加えて、7月に子会社とした(株)双葉測器製作所の売上が上乗せされたこと等により、売上高は242億35百万円（前年同期比17.1%増）となりました。損益面につきましては、売上高増加の影響により営業利益は14億7百万円（前年同期比113.4%増）、経常利益は14億95百万円（前年同期比133.9%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用の計上及び非支配株主に帰属する四半期純利益の控除により、8億49百万円（前年同期比179.5%増）となりました。

なお、従来その他事業セグメントに区分しておりましたダイカスト事業の金額的重要性が増したため、第1四半期よりダイカスト事業セグメントとして集計しております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

圧力計事業

圧力計事業では、国内においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が減少したものの、FA空圧機器業界向、半導体業界向、空調管材業界向の売上が増加いたしました。また、米国子会社においては、産業機械業界向、プロセス業界向の売上が増加いたしました。また、円安に伴う為替換算による増収の影響がありました。

この結果、圧力計事業の売上高は108億98百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

圧力センサ事業

圧力センサ事業では、国内においては半導体業界向、産業機械業界向、空調管材業界向の売上が増加し、量産品である建設機械用圧力センサ、自動車搭載用圧力センサの売上也増加いたしました。米国子会社においては産業機械業界向、プロセス業界向の売上が増加し、ドイツにおける合弁会社での自動車搭載用圧力センサの売上也増加いたしました。

また、圧力計と同様に円安に伴う為替換算による増収の影響がありました。

この結果、圧力センサ事業の売上高は71億72百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

計測制御機器事業

計測制御機器事業では、電力業界向け油圧ポンプユニットの売上が増加し、自動車・電子部品関連業界向のエアリークテスター及び工場生産自動化設備用の空気圧機器の売上也増加いたしました。また、7月に子会社とした(株)双葉測器製作所による重錘形圧力天びんの売上が上乗せされました。

この結果、計測制御機器事業の売上高は27億4百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

ダイカスト事業

ダイカスト事業では、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の売上が増加いたしました。

この結果、ダイカスト事業の売上高は23億57百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

その他事業

その他事業では、自動車用電装品の売上が増加いたしました。

この結果、その他事業の売上高は11億2百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は463億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億33百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価評価等による増加によります。

負債は248億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が4億38百万円、繰延税金負債が5億5百万円増加したものの、流動負債のその他が6億3百万円、長期借入金が1億98百万円減少したことによります。

また、純資産は214億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億26百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が9億28百万円、利益剰余金が6億55百万円増加したことによります。この結果、自己資本比率は45.2%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、49億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は9億14百万円（前年同四半期は10億94百万円の収入）となりました。

資金増加の要因は、税金等調整前四半期純利益15億15百万円及び減価償却費6億2百万円により資金が増加した一方、法人税等の支払額5億81百万円及び売上債権の増加額5億50百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は4億11百万円（前年同四半期は5億66百万円の支出）となりました。

これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出6億69百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は4億52百万円（前年同四半期は4億33百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入の返済による支出（純額）1億74百万円、配当金の支払額1億93百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年8月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想を修正しました。

詳細については、本日(平成29年11月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,675,196	5,805,941
受取手形及び売掛金	9,409,762	9,589,053
電子記録債権	1,107,524	1,495,096
たな卸資産	7,885,117	8,236,174
繰延税金資産	530,961	522,218
その他	1,552,537	935,781
貸倒引当金	△182,660	△186,435
流動資産合計	25,978,439	26,397,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,572,148	10,752,929
減価償却累計額	△8,341,002	△8,466,396
建物及び構築物(純額)	2,231,146	2,286,533
機械装置及び運搬具	18,397,913	18,315,708
減価償却累計額	△16,262,996	△16,379,036
機械装置及び運搬具(純額)	2,134,917	1,936,671
土地	4,388,590	4,479,776
リース資産	775,022	791,192
減価償却累計額	△281,874	△314,823
リース資産(純額)	493,147	476,368
建設仮勘定	495,140	720,657
その他	4,058,826	4,134,806
減価償却累計額	△3,901,051	△3,939,952
その他(純額)	157,774	194,854
有形固定資産合計	9,900,717	10,094,862
無形固定資産		
のれん	—	79,260
リース資産	201,804	170,592
その他	670,167	605,925
無形固定資産合計	871,972	855,779
投資その他の資産		
投資有価証券	6,097,092	7,463,380
長期貸付金	417,157	83,500
退職給付に係る資産	18,872	23,101
繰延税金資産	479,210	384,220
その他	1,132,508	1,114,798
貸倒引当金	△86,826	△75,149
投資その他の資産合計	8,058,014	8,993,851
固定資産合計	18,830,703	19,944,493
資産合計	44,809,143	46,342,324

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243,481	4,682,278
短期借入金	5,796,973	5,795,862
1年内返済予定の長期借入金	1,482,880	1,463,323
リース債務	166,791	152,137
未払法人税等	940,295	752,621
賞与引当金	794,338	875,059
その他	2,674,479	2,070,520
流動負債合計	16,099,239	15,791,804
固定負債		
長期借入金	4,833,275	4,634,815
リース債務	506,549	466,772
繰延税金負債	840,335	1,345,641
役員退職慰労引当金	209,573	207,406
退職給付に係る負債	2,272,783	2,308,699
資産除去債務	32,949	32,949
その他	78,155	91,270
固定負債合計	8,773,621	9,087,556
負債合計	24,872,861	24,879,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,380,126	4,380,126
資本剰余金	4,448,737	4,448,737
利益剰余金	9,245,995	9,901,890
自己株式	△26,962	△27,069
株主資本合計	18,047,896	18,703,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268,298	3,196,891
為替換算調整勘定	△318,552	△503,963
退職給付に係る調整累計額	△494,175	△461,724
その他の包括利益累計額合計	1,455,569	2,231,202
非支配株主持分	432,815	528,076
純資産合計	19,936,281	21,462,964
負債純資産合計	44,809,143	46,342,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,700,565	24,235,892
売上原価	14,950,335	17,311,504
売上総利益	5,750,229	6,924,388
販売費及び一般管理費	5,090,502	5,516,579
営業利益	659,727	1,407,808
営業外収益		
受取利息	23,068	27,243
受取配当金	70,201	62,479
為替差益	—	48,530
持分法による投資利益	19,045	65,064
その他	181,631	71,893
営業外収益合計	293,947	275,211
営業外費用		
支払利息	98,423	106,968
為替差損	107,382	—
その他	108,417	80,383
営業外費用合計	314,222	187,351
経常利益	639,452	1,495,668
特別利益		
固定資産売却益	617	305
関係会社出資金売却益	—	47,219
特別利益合計	617	47,524
特別損失		
固定資産売却損	—	15,862
固定資産除却損	3,809	11,649
特別損失合計	3,809	27,512
税金等調整前四半期純利益	636,260	1,515,680
法人税、住民税及び事業税	284,095	417,912
法人税等調整額	△8,008	145,814
法人税等合計	276,087	563,726
四半期純利益	360,173	951,953
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,187	102,182
親会社株主に帰属する四半期純利益	303,985	849,770

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	360,173	951,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183,064	930,037
為替換算調整勘定	△506,995	△178,221
退職給付に係る調整額	58,212	32,451
持分法適用会社に対する持分相当額	△86,181	△4,584
その他の包括利益合計	△351,899	779,682
四半期包括利益	8,273	1,731,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,426	1,626,395
非支配株主に係る四半期包括利益	46,700	105,240

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	636,260	1,515,680
減価償却費	595,122	602,828
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,867	△5,679
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92,365	84,672
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,495	16,136
受取利息及び受取配当金	△93,270	△89,723
支払利息	98,423	106,968
手形売却損	27,224	30,309
為替差損益 (△は益)	52,135	△13,072
持分法による投資損益 (△は益)	△19,045	△65,064
関係会社出資金売却益	—	△47,219
売上債権の増減額 (△は増加)	△366,552	△550,308
たな卸資産の増減額 (△は増加)	252,220	△384,587
仕入債務の増減額 (△は減少)	97,368	380,735
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,645	△91,785
その他	140,874	35,750
小計	1,332,113	1,525,643
利息及び配当金の受取額	117,698	108,713
利息及び手形売却に伴う支払額	△124,941	△138,592
法人税等の支払額	△230,774	△581,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,094,095	914,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△415,786	△334,362
定期預金の払戻による収入	374,252	245,487
有形固定資産の取得による支出	△505,920	△669,150
有形固定資産の売却による収入	2,112	11,311
投資有価証券の取得による支出	△3,428	△4,550
関係会社出資金の売却による収入	—	68,356
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△203,096
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△89,381	—
長期貸付金の回収による収入	48,621	485,803
その他	23,261	△11,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	△566,269	△411,774

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	264,695	17,009
長期借入れによる収入	500,000	605,532
長期借入金の返済による支出	△775,792	△779,762
配当金の支払額	△193,247	△193,483
非支配株主への配当金の支払額	△9,986	△9,979
その他	△219,564	△91,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△433,895	△452,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△229,939	2,574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△136,008	52,669
現金及び現金同等物の期首残高	4,927,454	4,910,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,791,446	4,963,400

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間より、(株)双葉測器製作所のすべての株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	圧力計	圧力 センサ	計測制御 機器	ダイ カスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	9,951,578	5,477,446	2,341,089	1,858,154	19,628,268	1,072,296	20,700,565	—	20,700,565
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	234	13,914	292	—	14,440	105	14,545	△14,545	—
計	9,951,813	5,491,360	2,341,381	1,858,154	19,642,709	1,072,401	20,715,110	△14,545	20,700,565
セグメント利益	3,879	270,787	116,974	218,282	609,923	45,595	655,518	4,208	659,727

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4,208千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	圧力計	圧力 センサ	計測制御 機器	ダイ カスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上 高	10,898,295	7,172,657	2,704,668	2,357,399	23,133,020	1,102,872	24,235,892	—	24,235,892
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	220	2,520	291	—	3,031	89	3,120	△3,120	—
計	10,898,515	7,175,177	2,704,960	2,357,399	23,136,052	1,102,961	24,239,013	△3,120	24,235,892
セグメント利 益	294,227	498,612	226,073	339,631	1,358,544	44,718	1,403,262	4,545	1,407,808

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4,545千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「計測制御機器」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間より(株)双葉測器製作所の株式取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては83,432千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ダイカスト」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。